

ねりまの文化財

ふるさととの文化財を大切に!

文化財保護強調週間

東京文化財ウィーク二〇〇三

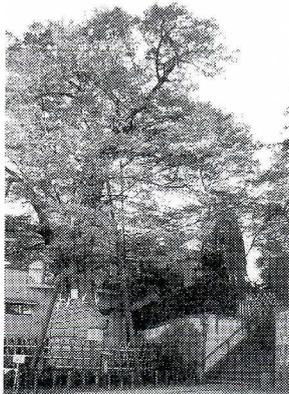
11月1日から7日は文化庁が主催する「文化財保護強調週間」です。昭和二四年、法隆寺金堂の失火により世界最古の木造建築物に描かれた白鳳時代の壁画が焼損してしまいました。この事件を教訓として、翌年には文化財保護法が施行されるなど、文化財保護への取り組みが強化されました。

「文化財保護強調週間」は、様々な行事や広報活動を推進することによって、国民共有の財産としての文化財に対する愛護思想を普及するために、昭和二九年に定められました。東京都では、平成一〇年度からの週間前後を「東京文化財ウィーク」

として、都内全域で一斉に文化財(国指定及び都指定文化財)を公開するとともに、関連する企画事業をあわせて実施しています。これにより文化財に触れる機会を皆さんに提供するとともに、地域の歴史や古くからの文化に関心を持っていただこうとするものです。

本年度は、11月3日(月・祝)から9日(日)までの七日間に、二百ヶ所ほどの文化財が公開されます。さらに、10月1日(水)から11月30日(日)まで、講座など百件ほどの文化財保護企画事業が都内各地で行われます。

練馬区内でも、調査発表や特別展



練馬白山神社の大ケヤキ

本号でご案内の文化財講座や「わがまち再発見」の参加方法など、詳細は10月21日発行の「ねりま区報」でお知らせします。

といった六事業を企画しました。また、国指定の天然記念物「練馬白山神社の大ケヤキ」など国・都指定文化財が公開されます。普段から見学できるものもありますが、公開期間中は場所を示すのぼりが立てられ、解説カードも用意されますので、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

練馬区教育委員会
生涯学習課
(文化財係)
☎ 3993-1111
〒176-8501
練馬区豊玉北6-12-1

第15回練馬区伝統工芸展

練馬に生きる
江戸の心と技

長い歴史に培われた伝統工芸の数々。父から子、子から孫へと受け継がれ、現在も私たちの生活の中に生き続けています。その作品の一つひとつには、職人の英知や技術、心意気までもが込められており、「江戸の心と技」を感じ取ることができます。練馬に伝わる伝統工芸のすばらしい技術と作品にぜひ触れてみてはいかがでしょうか。

▼とき 11月2日(日)〜4日(火)
午前10時から午後6時まで
(4日は午後4時まで)

▼ところ 石神井公園区民交流センター
西武池袋線「石神井公園駅」
北口下車 徒歩1分

▼主催 練馬区伝統工芸会
▼後援 練馬区・練馬区教育委員会

文化財講座「伝統工芸講演会」

*期間中の11月4日(火)に、職人を招いて伝統工芸講演会を開催します。

